

登録コード	L2631000	開講年度	2026				
担当教員	渡邊 匡一			副担当			
授業科目	日本文学基幹演習						
英文授業名	Japanese Literature: Basic Seminar						
授業タイトル	日本文学基幹演習						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	木曜・3時限
講義室	人文204 演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以降加付対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー			他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシーを養います。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			様々な語彙の注釈作業を通して作品を理解し、考察を通して古典世界を理解することによって、思索力・受容力・批判力を養います。			
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			様々な語彙の注釈作業を通して作品を理解し、考察を通して古典世界を理解することによって、必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力を養います。			
授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	古典作品の研究は、人物（皇族・貴族・武士など）・場所・建物・難語句など、文章に出てくる様々な言葉の意味を理解する（語釈すること）から始まります。授業では『今昔物語集』を用い、発表者には、担当話の中に出てくる語句を様々な辞書や書物を用いて調べあげること、その上で、担当話の考察をおこなうこと、が要求されます。また、発表に対する質疑応答も、研究を高めていく上で重要な役割を果たします。発表を聞く人には、発表者に対する質問や意見を述べる事が要求されます。また、資料解読の技術を習得するために、諏訪市仏法紹隆寺、木曾郡王滝村御嶽神社所蔵の資料等も利用します。						
授業計画	第1回：古典作品を研究するための基礎作業の概説 第2回：『今昔物語集』の概説 第3回：担当話の確定 第4回：人物の調べ方を理解する。 第5回：場所の調べ方を理解する。 第6回：建物、服装などの調べ方を理解する。 第7回：難語句の調べ方を理解する。 第8回：考察の方法を理解する。 第9回：第一話の担当者が発表する。質疑応答によって課題を確認する。 第10回：第二話の担当者が発表する。質疑応答によって課題を確認する。 第11回：第三話の担当者が発表する。質疑応答によって課題を確認する。 第12回：第四話の担当者が発表する。質疑応答によって課題を確認する。 第13回：第五話の担当者が発表する。質疑応答によって課題を確認する。 第14回：第六話の担当者が発表する。質疑応答によって課題を確認する。 第15回：第七話の担当者が発表する。質疑応答によって課題を確認する。授業アンケートの実施 学生の研究内容・理解度等により、各回の計画を変更することがあります。						
成績評価の方法	発表（60％）、レポート(30%)、質疑応答（10％）で評価します。						
成績評価の基準	以下の基準を総合して、『卓越している』/『かなり上にある』/『やや上にある』/『その水準にある』を判断します。 発表： 担当話の中に出てくる語句を様々な辞書や書物を用いて調べあげていること。調べたものを適切な表現で説明できていること。 考察の目的・方法が適当であること。 考察の結論に至る論理が適当であること。 質疑に際して適切な答弁ができること。 レポート： 質疑等で指摘された問題点や課題を取り込むこと。 担当話の中に出てくる語句を様々な辞書や書物を用いて調べあげていること。調べたものを適切な表現で説明できていること。 考察の目的・方法が適当であること。 考察の結論に至る論理が適当であること。						
事前事後学習の内容	他受講者の担当話については必ず事前に読んでおくことが必要です。また、発表や質疑等で問題となった事項については、論文や研究書で確認しておくことも必要です。						
履修上の注意	各受講者には、指導の学生がつきます。よく相談しながら発表の準備をする必要があります。						
質問、相談への対応	木曜日12:10～13:00をオフィスアワーとします。事前にメール等で連絡してください。メールアドレス						

質問、相談への対応	はkwata@shinshu-u.ac.jpです。
教科書	『宇治拾遺物語』（角川ソフィア文庫） 1,080円
参考書	『今昔物語集・宇治拾遺物語』（新潮古典アルバム9） 1300円